

平成30年10月10日

平成30年度「東アジア文化交流使」の決定

文化庁では、この度、平成30年度「東アジア文化交流使」(※)を以下の2名に決定しましたので、お知らせします。

※「東アジア文化交流使」とは、中堅・若手芸術家等を中国・韓国を中心とした東アジア諸国に派遣し、日本の文化を広く世界に紹介する事業です。

○水江 ^{みづえ} 未来 ^{みらい} 氏 (アニメーション作家)

(1) プロフィール

「細胞」や「幾何学図形」をモチーフにした抽象アニメーション作品を多数制作し、主に国際映画祭を舞台に活動をしている。制作作品のヴェネチア映画祭・ベルリン映画祭でのワールドプレミア上映や、世界4大アニメーション映画祭へのノミネートなどの経験があり、アヌシー国際アニメーション映画祭では、これまでに最優秀音楽作品賞とCANAL+Creative Aid賞(仏テレビ局賞)を受賞するなど、多数の受賞歴がある。

(2) 派遣国・活動内容等

韓国に平成31年1月中旬に派遣予定。主な活動内容として、仁川において、自身の作品の上映会やトークイベントを開催するとともに、ソウル市内の複数のアニメーション監督のスタジオを訪問し、現地アーティストとネットワークを構築する。

○毛利 ^{もうり} 悠子 ^{ゆうこ} 氏 (美術家)

(1) プロフィール

磁力や重力、光などをセンシングするインスタレーションを制作。平成27年、アジアン・カルチュラル・カウンシル(ACC)のグランティとして渡米。英カムデン・アーツ・センターでの個展「Voluta」のほか、「リヨン・ビエンナーレ2017」(フランス)、「ヨコハマトリエンナーレ2014」(神奈川)など国内外の展覧会に多数参加。

(2) 派遣国・活動内容等

中国に平成30年12月中旬に派遣予定。主な活動内容として、北京、上海を中心に、杭州、雲南省など様々な地域にもおもむき、現地のアーティストやキュレーター、批評家等へのインタビュー、更にトークイベントを開催する。

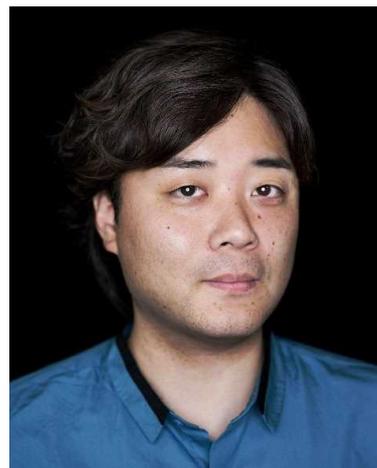
(敬称略、50音順)

(次ページに続く)

- ・ 2名の略歴は別紙1を御参照ください。
- ・ 「東アジア文化交流使」の事業概要は別紙2を御参照ください。

<担当>文化経済・国際課国際文化交流室
室長 秋山 麻里（内線3153）
室長補佐 木南 秀隆（内線3166）
振興係長 内 誠（内線3167）
電話：03-5253-4111（代表）

みずえ みらい
水江 未来 (アニメーション作家)



【出生地】 福岡県福岡市

【生年月日】 1981年7月14日

【学歴】 多摩美術大学大学院美術研究科デザイン専攻・修了

多摩美術大学大学院グラフィックデザイン学科でアニメーションを学ぶ。「細胞」や「幾何学図形」をモチーフにした抽象アニメーション作品を多数制作し、主に国際映画祭を舞台に活動をしている。

世界4大アニメーション映画祭（アヌシー・オタワ・広島・ザグレブ）すべてにノミネート経験があり、アニマドリッド 2009（スペイン）では、『DEVOUR DINNER』が準グランプリを受賞。また、ヴェネチア国際映画祭（2011）で『MODERN No.2』がワールドプレミア上映され、アヌシー国際アニメーション映画祭 2012 では、SACEM 賞（最優秀音楽作品賞）を受賞。ベルリン国際映画祭（2014）で『WONDER』がワールドプレミア上映され、アヌシー国際アニメーション映画祭 2014 では、CANAL+Creative Aid 賞（仏テレビ局賞）を受賞。2014 年には、これまで制作してきた短編アニメーションをオムニバスとしてまとめた『ワンダー・フル！！』を、全国 15 館で劇場公開した。

MONSTRA リスボン国際アニメーション映画祭 2013（ポルトガル）では、長編部門の審査員を務め、回顧上映と特別講義が行われた。広島国際アニメーションフェスティバル 2012, SICAF2010（韓国）の国際選考委員を務め、国内では第 17 回～22 回・学生 CG コンテストの審査員を務める。インディペンデント・レーベル『CALF』の設立・運営メンバーで、同レーベルから作品集 DVD を発売。また、六本木アートナイト内で 2010 年から毎年開催を続ける短編アニメーション上映イベント『TOKYO ANIMA!』の実行委員・キュレーションも務める。

現在、「西遊記」を原作とした初の長編アニメーション映画を製作中。

【主な受賞歴等】

- | | | | |
|--------|-----------------------------|------------------------------|---------------|
| 2014 年 | 『WONDER』 | ベルリン映画祭 2014（ドイツ） | ワールドプレミア |
| 同作品 | アヌシー国際アニメーション映画祭 2014（フランス） | CANAL+Creative Aid 賞（仏テレビ局賞） | |
| 2011 年 | 『AND AND』 | アニフェスト国際アニメーション映画祭 2012（チェコ） | MV 部門・最優秀賞 |
| 2011 年 | 『MODERN No.2』 | ヴェネチア映画祭 2011（イタリア） | ワールドプレミア |
| 同作品 | アヌシー国際アニメーション映画祭 2012（フランス） | SACEM 賞（最優秀音楽作品賞） | |
| 2010 年 | 『PLAYGROUND』 | アヌシー国際アニメーション映画祭 2012（フランス） | ノミネート |
| 2010 年 | 『MODERN』 | 飛騨国際メルヘンアニメ映像祭 2010 | 特別奨励賞（準グランプリ） |
| 2009 年 | 『JAM』 | アニマニマ国際アニメーション映画祭 2009（セルビア） | 特別芸術賞 |
| 2008 年 | 『DEVOUR DINNER』 | アニマドリッド国際アニメーション映画祭 2009 | 準グランプリ |

【ウェブ】 <https://miraifilm.com/>

もうり ゆうこ
毛利 悠子 (美術家)

【学 歴】多摩美術大学美術学部情報デザイン学科卒業
東京藝術大学大学院美術学部先端芸術表現科
修士課程修了

磁力や重力、光などをセンシングするインスタレーションを制作。

2015年、アジアン・カルチュラル・カウンシル (ACC) のグランティとして渡米。英カムデン・アーツ・センターでの個展「Voluta」のほか、「リヨン・ビエンナーレ 2017」(フランス)、「コーチ=ムジリス・ビエンナーレ 2016」(インド)、「ヨコハマトリエンナーレ 2014」(神奈川)など国内外の展覧会に多数参加。2015年に日産アートアワード グランプリ、2016年に神奈川文化賞未来賞、2017年に第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。現在、東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専任講師。



©Naoko Maeda

【近年の業績】

- 2018年07月 個展「Voluta」カムデン・アーツ・センター (ロンドン)
- 2018年06月 グループ展「Childhood」パレ・ド・トーキョー (パリ)
- 2018年03月 グループ展「rehearsal」オールド・ベイリー・ギャラリー (香港)
- 2018年03月 グループ展「近くへの遠回り」ウィフレド・ラム現代アート・センター (ハバナ)
- 2018年01月 キュレーション「泉/Fountain 1917-2017」京都国立近代美術館 (京都)
- 2017年12月 個展「グレイ スカイズ」藤沢市アートセンター (神奈川)
- 2017年11月 ブルガリ アウローラ アワード 2017
- 2017年10月 グループ展「ジャパノラマ」ポンピドゥ・センター・メッス (メッス)
- 2017年09月 グループ展「リヨン・ビエンナーレ 2017」リヨン現代美術館 (リヨン)
- 2017年08月 グループ展「札幌国際芸術祭 2017」札幌市立大学スカイウェイ (北海道)
- 2017年03月 第67回 芸術選奨文部科学大臣新人賞
- 2017年02月 個展「Moré Moré (Leaky)」White Rainbow (ロンドン)
- 2016年12月 グループ展「コーチ=ムジリス・ビエンナーレ 2016」アスピノウォール (コーチ)
- 2016年11月 個展「フォーム・オブ・ザ・デイズ」Jane Lombard Gallery (ニューヨーク)
- 2016年10月 第65回 神奈川文化賞未来賞
- 2016年08月 英『アポロ誌』40 Under 40: アジア太平洋地域で最も影響力ある40歳以下の40人に選出

【ウェブ】 <http://www.mohrizm.net/>

東アジア文化交流使について

1. 目的・趣旨

平成26年11月に開催された第6回日中韓文化大臣会合において、日中韓3か国の文化交流を促進するために、日中韓各国が自国の芸術家・文化人等を「東アジア文化交流使」として一定期間派遣し、実演やワークショップ等を通じて自国の文化を広く紹介していくことを決定。

本事業を通じて相互の文化への理解を深化させるとともに、芸術家・文化人等のネットワークの形成・強化を図る。

2. 内容

- ・ 伝統文化から現代文化まで多様な分野の中堅・若手の芸術家・文化人等を、中国、韓国を中心とする東アジア諸国（1か国又は複数国）に派遣し、専門分野に関する実演、実技指導、講演、上映・展示、情報交換等の活動を実施する。
- ・ 派遣期間は原則として2週間程度とする。
- ・ 派遣者は1週間に2回以上の活動を行う。

【参考】過去の派遣実績

氏名	プロフィール	活動国	活動内容
平成29年度			
藤原 ちから	批評家・BricolaQ 主宰	中国	「演劇クエスト」のリサーチや、アートをスペースを訪問し、現地アーティストとネットワークを構築
万城目 学	小説家	韓国	トークイベントを開催するとともに、韓国各地の日本人が手がけた近代建築を探訪
モリ川 ヒロト	映像クリエイター・音楽家・写真家・エッセイスト	韓国	金沢の魅力を発信するための映像展示、トークイベント等を実施
平成28年度			
長田 育恵	劇作家／「演劇ユニットてがみ座」主宰	韓国	ソウル等において、今後の新作や共同制作に向けた現地演劇関係者との意見交換や調査等を実施
笹本 晃	アーティスト	中国	上海ビエンナーレへの参加に合わせてレクチャー等を実施
蓮沼 執太	音楽家	中国	北京等において、展示やライブ等を実施
久門 剛史	美術作家	中国	上海当代美術館で開催される個展に合わせてレクチャー等を実施
宝生 和英	宝生流能楽師 第20代宗家	中国	香港等において、能に関するレクチャーやワークショップ等を実施
村川 拓也	演出家	中国	北京等において、今後の共同制作に向けた現地演劇関係者との意見交換や調査、ワークショップ等を実施

平成27年度			
楠木 早紀	競技かるた永世クイーン	中国	かるた・百人一首に関する指導やデモンストレーションを実施
やなぎ みわ	美術作家・舞台演出家	中国	現地アーティストと将来の共同制作に向けた情報交換・トークイベント等を実施
スズキ 拓朗	演出家・振付家・ダンサー	韓国	現地ダンサーとの共同制作・ワークショップを実施
平成26年度			
WASABI	新・純邦楽ユニット	中国	現地の演奏家とのセッションを含む、三味線、尺八、太鼓、箏による演奏会を実施
山田 うん	ダンサー	中国	公演、現地舞踊団等とのワークショップ・共同制作を実施
柴 幸男	劇作家・演出家	中国	現地劇団等とのワークショップ・共同制作を実施
多田 淳之介	演出家	韓国	現地劇団等とのワークショップ・共同制作を実施
池田 卓	音楽家	韓国	三線（沖縄の伝統楽器）の演奏や琉球舞踊を交えた演奏会を実施

3. 指名手続

東アジア文化交流使は、独立行政法人国際交流基金や文化交流使事業委員会（※）の助言を受け、文化庁長官によって指名される。

※「文化交流使事業委員会」は、文化交流使事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会で、関係行政機関、学識経験者等から構成される。